

日程第十一、 労働農民党支持工七産政院排撃に干する決議案 可決

(甲乙)

日程第十三、 協調的団体協約排撃の件

(九州鉄工組合提出)

可決

日本共産主義トラストとして結成した全額的展開を開始した我々國資本界階級は資本主義の一時の安
定への生死の奴隷に捧げられたる。それ故に必然的に無産階級の負担を増大諸制の採取等に依る。子連せら
れらるる。産業界の合理化、労働条件の低下、失業者の激増等はその具現である。労働階
級の生活の極度の不安と劣悪化とは必然的に労働大衆の不満と反抗をも呼起す。無産階級の
勢力は急激に増大してその組織的反抗は全力的に擴大する。かくる無産階級の反抗と階級の
ことをした支配階級の目的と違ふことには不可説である。政治的権力とあらゆる組織と機関と動員して
の徹底的な露威と同時に協調的政策、買収政策、社会政策、等々階級政策に依って敵対的組合の破壊
と協調的組合の懐柔による分割支配の三重政策を度してなる。左右両翼の白熱的対立闘争の發展
は左翼の労働組合を以て全無産階級政治闘争主義の指導精神を賦せしめると同時に右翼
労働組合幹部としてその必然的運來に手を押詰り積極的の反動化して労働階級の階級的立場

を放棄してブルジョアの陣営に没落せしめた。かくて意識化した右翼は現段階における反動労働軍
として、ファシストへの轉落の傾向をたどりつゝある。協調的団体協約は、かくる支配階級の分割支配

懐柔政策の意圖により反動化した右翼労働組合幹部の封鎖の協力の下に契約された。先
の反動化した労働組合同盟の幹部は、東京製鋼會社との間に協調的団体協約を締結して、先
には、東京製鋼會社工場カストライキを叩出し、労働大衆の要求を初歩して、資本家の支配とより最近に
は、会社、産業合理化に協力し、教士名の労働者を首切り、失業者と衝突し投出した。更に岡部電機製
作所に於ては従業員が此の醜態を、総同盟の幹部の手で脱出して、中間派聯合の日本労働組合同盟
へ加盟せしめ、運動の中心分子であり、従軍出陣の中心として居た支部長外十名と除名し、しかり協
調的団体協約も擁護するに會社と共力し、何等の解雇手当りなく解雇するに至る。最
最近の大争議として今尚千数百名の僚友が苦闘して、その幹部の解雇を拒否し、反動的右翼組合

日本産負組合幹部の意識的振業印刷して、その間に海下する西軍協同会を有る全海負の職業紹介
を独占したる協調的団体協約の型態である。かくる同海負団体は同協同会が反動的右翼団体でな
く、資本家等が、此の種別、これと異なる。我々の評議會は、組合同盟、同協同会等が中間派
聯合労働団体である。故に、此の協調的団体協約は無関係である。協同的団体協約は
資本家階級、反動化した右翼労働組合幹部との協力による労働大衆懐柔政策の表現である。